

# エコアクション21

## 2024年度環境経営レポート



第17回発行 2025年9月30日

(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

株式会社湯原製作所  
環境管理事務局作成

## 【1. 事業者活動の概要】

### (1) 当社の概要

|                   |                   |  |  |
|-------------------|-------------------|--|--|
| 事業者名              | 株式会社湯原製作所         |  |  |
|                   | 代表取締役 湯原正史        |  |  |
| 創 立               | 1950年(昭和25年)4月25日 |  |  |
| 本社所在地             | 栃木県さくら市氏家1256番地   |  |  |
| 資本金               | 5,000万円           |  |  |
| 事業内容              | 自動車部品及び航空機関連部品の製造 |  |  |
| 主な納入先             | 自動車部品メーカー 約70社    |  |  |
| 従業員数              | 105名(2022年3月現在)   |  |  |
| JIS Q9001 認証取得年月日 | 2004年6月30日        |  |  |
| エコアクション21 認証取得    | 2011年1月11日        |  |  |

本社全景



蒲須坂工場

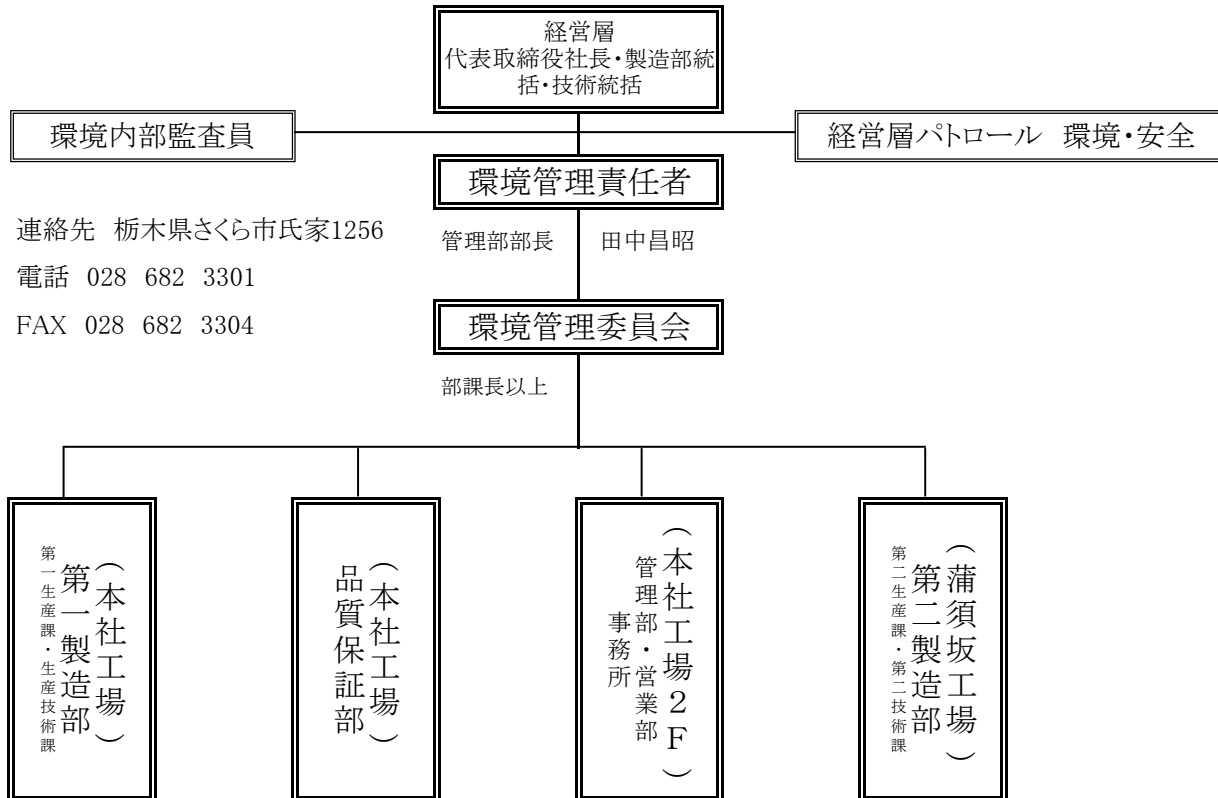
## 【2. 事業活動の範囲及び活動組織】

### (1) 活動事業所

|       |                 |    |        |    |         |
|-------|-----------------|----|--------|----|---------|
| 本社工場  | 栃木県さくら市氏家1256番地 | 建物 | 6,572㎡ | 土地 | 10,993㎡ |
| 蒲須坂工場 | 栃木県さくら市蒲須坂273-1 | 建物 | 2,801㎡ | 土地 | 7,883㎡  |

(建物面積は全て延床面積で表示)

### (2) エコアクション21 活動組織 (2024年度)



※認証登録範囲 全組織(本社・工場、蒲須坂工場)、全活動(自動車部品及び航空機関連部品の製造)

# 環境関連業務の役割・責任・権限表

| 部門           | 責任者     | 主な役割・責任・権限   |                               |
|--------------|---------|--|-------------------------------|
| 経営責任者        |         | 1. 環境経営システムに関する全ての責任と運用に関する権限をもつ   |                               |
|              |         | 2. 環境経営システムの実施及び管理に不可欠な資源を用意する<br>* 人的資源 * 技術・技能 * 資金 * モノ   |                               |
|              |         | 3. 環境管理責任者の任命し、各自の役割・責任を定め、全従業員に周知し、効果的で必要十分な実施体制の構築。  |                               |
|              |         | 4. 環境方針の策定   |                               |
|              |         | 5. 環境マネジメントシステムの評価と見直し・指示を行う。  |                               |
|              |         | 6. 環境目的・目標、及び環境マネジメントプログラムの承認  |                               |
|              |         | 7. 法規制監視項目の定期的なレビュー  |                               |
|              |         | 8. 経営上の課題とチャンスを整理し、明確にする。  |                               |
| 環境管理責任者      |         | 1. 環境マネジメントシステムの要求事項を確立し、実施し、維持する。<br>(1) 著しい環境側面の認定承認及び、外部コミュニケーションの決定<br>(2) 環境マネジメントプログラムの検討及び各部門の環境マネジメントプログラムの承認<br>(3) 内部環境監査の計画の策定・実施・是正及び予防処置の指示及び確認<br>(4) 環境目的・目標の策定<br>(5) 環境管理委員会の召集 |                               |
|              |         | 2. 経営責任者への環境マネジメントシステムの実績報告<br>(1) 環境マネジメントプログラムの進捗報告<br>(2) 内部環境監査結果の報告   |                               |
|              |         | 3. 法規制監視項目の実施状況の確認承認   |                               |
|              | 環境管理事務局 |  | 1. 環境管理責任者の補佐 環境管理事務局         |
|              |         |  | 2. 環境側面調査二次評価及び環境側面登録表の作成     |
|              |         |  | 3. 環境関連取引先評価と環境マネジメントプログラムの伝達 |
|              |         | 4. 廃棄物処理業者の選定及び調査報告  |                               |
|              |         | 5. 特別管理産業廃棄物の監視及び報告  |                               |
|              |         | 6. 法規制監視項目測定結果の評価及び監視  |                               |
|              |         | 7. 法規制監視項目の測定実施及び測定結果の確認・公的機関への報告、年度測定計画の策定  |                               |
|              |         | 8. 法規制等の情報収集及び調査（マニフェストの管理含む）  |                               |
| 管理部長         |         | 1. 外部コミュニケーションの受け付け・対応   |                               |
|              |         | 2. 公的機関への許認可の申請手続き及び維持   |                               |
|              |         | 3. 作業環境、ユーティリティ環境の維持管理   |                               |
|              |         | 4. 作業環境の監視及び測定   |                               |
|              |         | 5. 取引先企業への環境活動協力依頼   |                               |
| 技術部長         |         | 1. 新規材料・新規設備導入前環境側面認識・評価   |                               |
| 品証部長         |         | 1. I M D S の登録及び管理   |                               |
| 営業部長         |         | 1. 新規取引先に対する環境取り組みの評価  |                               |
|              |         | 2. 外部コミュニケーションの受け付け・対応   |                               |
| 製造部長<br>技術部長 |         | 1. マニフェストの管理   |                               |
|              |         | 2. 廃棄物・危険物の管理  |                               |
|              |         | 3. 防火管理  |                               |
| 各部課長         |         | 1. 自部門の環境マネジメントプログラムの策定・推進   |                               |
|              |         | 2. 緊急事態発生時の対応  |                               |
|              |         | 3. 環境側面の抽出及び評価   |                               |
|              |         | 4. 自部門従業員への環境関連情報伝達及び教育訓練の実施   |                               |
|              |         | 5. 環境に影響ある使用製品の SDS (MSDS) 徴求及び管理  |                               |
| 内部環境監査員      |         | 1. 内部環境監査の実施・是正処置の発動及びフォロー監査の実施  |                               |
|              |         | 2. 監査報告書の作成および環境管理責任者への提出  |                               |
| 一般社員・契約社員    |         | 環境経営システムへの参加、改善・維持活動の実施  |                               |

### 【3. 環境方針】

---

## 環 境 方 針

私達、株式会社湯原製作所は輸送用機器部品の製造を通じて『人にやさしく、環境との調和』が人類共通の重要課題であることを認識し、「未来に向けて人々がより快適に活動出来る環境作り」をスローガンに企業のあらゆる活動において、自然を大切にし、環境と調和した社会の実現』に全員で考え全員で行動する。

◆ 上記環境方針を効率よく推進させる為の活動指針を下記の通りとする。

### 活 動 指 針

1. あらゆる生産活動及びサービスにおいて、全従業員が環境に与える影響を認識し、評価し、それに基づき目標を定め、環境経営の継続的な改善及び汚染の予防、化学物質の管理の徹底に取り組む。
2. 環境に関する法律・規制及びその他の要求事項を遵守し、環境改善に努める。
3. 省資源、省エネルギー及び廃棄物の削減、並びに二酸化炭素排出量の削減を図るために、作業効率の最適化、生産性の向上、歩留向上及び加工技術の開発に努める。
4. 全従業員に対し環境方針を周知する。

2019年8月20日

株式会社湯原製作所

代表取締役湯原正史

---

【4. 中期環境目標】

次年度の環境改善取組みについては、今年度の改善を継続して取り組みます。

①2024年度～2026年度

| 改善方針  | 実施事項            | 担当部門  | 2024   | 2025  | 2026      |
|---|-----------------|-------|--|---|-----------|
| 1. 二酸化炭素排出量削減<br>「付加価値/電気使用量」の向上<br>基準331千円/MWhに対して | ①省エネ活動（節電・空調温度） | 全部門   | 省エネ設備導入  |  |           |
|   | ②生産性等の改善活動      |       | 332千円/MWh  | 333千円/MWh   | 334千円/MWh |
|   | ③省エネ設備導入        |       | 365千円/MWh  |   |           |
| 2. 廃棄物排出量削減<br>リサイクル率基準53%                          | ①リサイクル活動        | 全部門   | 54%  | 55%   | 56%       |
|   | ②廃棄物分別強化        |       | 50%  |  |           |
|   | ③環境・安全パトロール実施   |       |  |   |           |
| 3. 水使用量削減<br>基準水使用量1810m <sup>3</sup>               | ①節水活動           | 全部門   | 現状維持   |  |           |
| 4. 化学物質使用量削減<br>脱ジクロロメタン                            | ①ジクロロメタン回収再生    | 第一製造部 |  |   |           |
|   | ②洗浄方法・洗浄液の見直し   | 第二製造部 | リサイクル率31.5%以上  |   |           |
|   | ③使用量の把握         |       | 24%  |   |           |

※「付加価値/電気使用量」については基準値を100として表している。

※「不良削減」については品質マネジメントシステムによる改善計画に準ずる。

【5. 環境経営計画の取組内容】

2023年度及び2024年度環境改善活動具体的実施事項(全体) ※※は新しく取り入れた活動

◎重要 △監視

| 区分                            | SDGs                         | 具体的実施事項                               | 取組み部署 | 評価 |
|-------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|-------|----|
| 一・二酸化炭素排出量削減                  | 節電                           | ・スイッチ、エアコンへの節電ラベル表示                   | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・正面玄関、工場階段、2F通路の照明人感センサーへ切替           | 事務局   | ◎  |
|                               |                              | ・本社2F入口の照明を人感センサーへ切替                  | 事務局   | ◎  |
|                               |                              | ・ロー付け炉生産量に合わせ火入れ時間変更                  | 第一製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・蛍光灯スイッチ可能なものは個別スイッチへ変更(常時点灯・不要時消灯表示) | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・エアコン設定温度夏28度冬20度表示及び監視               | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・空調ダクト定期清掃                            | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・蛍光灯不要部蛍光管撤去                          | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・環境パトロール(抜き打ち)実施/パトロール役員フォロー実施        | 事務局   | ◎  |
|                               |                              | ・LED照明導入、空調設備(補助金活用で本社LED化、品証空調設備)    | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・省エネコピー機導入(2台)                        | 管理部   | ◎  |
|                               |                              | ・LED照明導入(本社工場・蒲須坂工場)                  | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・省エネエアコン導入(本社旧工場11台、品証1台)+旧工場2台、品証1台  | 全社    | ◎  |
|                               | ・省エネタイプの加工機導入                | 第一製造部                                 | ◎     |    |
|                               | ・作業動線の短縮化の追及                 | 製造部                                   | ◎     |    |
|                               | ・創エネ(太陽光発電設備設置)蒲須坂工場屋根       | 第二製造部                                 | ◎     |    |
|                               | ・*オイルミスト集中局所集塵設備導入           | 第二製造部                                 | ◎     |    |
|                               | ・不良削減活動(不良対策会議実施)            | 品証部                                   | ◎     |    |
|                               | ・手直し再生                       | 製造部                                   | ◎     |    |
|                               | ・品質値(過剰品質)拡大による不良廃棄削減活動      | 品証部                                   | ◎     |    |
| ・錆対策の事務所冷房から除湿空間設置            | 第一製造部                        | ◎                                     |       |    |
| ・社用車エコカー切替実施(都度)実績3台          | 管理部                          | ◎                                     |       |    |
| ・社用車リース契約切替(定期メンテナンス、部品交換等徹底) | 管理部                          | ◎                                     |       |    |
| ・出張時公共交通機関利用                  | 全社                           | ◎                                     |       |    |
| ・無人化促進(自動化推進による夜間効率の良い作業環境設定) | 技術部                          | ◎                                     |       |    |
| 二・廃棄物排出量削減                    | リサイクル                        | ・廃棄物分別強化運動実施(紙類・金属類)記録にて活動意識高揚を図る     | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・切粉附着油分離(切粉処理機/遠心分離機)後再使用実施           | 第二製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・刃具類研磨 再使用/業者へ分別売却                    | 第二製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・不良品分別活動金属種類別(材質・銅付きの有無・メッキの有無)       | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・ウェス使用方法分別(未使用・汚れ少・汚れ大)複数回使用          | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・遊休設備部品分解後再使用                         | 第二製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・廃油引き取り業者(リサイクル処理可能業者へ委託)             | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・特別管理産業廃棄物(ジクロロメタン)処理リサイクル業者へ委託       | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・洗浄液(ジクロロメタン)再処理品購入                   | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・Eco商品購入活動実施                          | 管理部   | ◎  |
|                               | ・リサイクル先の開拓(業者情報の入手)          | 事務局                                   | ◎     |    |
|                               | ・廃プラスチック類(ビニール類)リサイクル強化処理    | 全社                                    | ◎     |    |
|                               | ・*オイルミスト集中局所集塵設備導入での回収オイル再利用 | 第二製造部                                 | ◎     |    |
| ・不良削減活動(不良対策会議実施)             | 製造部                          | ◎                                     |       |    |
| ・新工法開発(超音波振動曲げ加工技術)による不良削減    | 技術部                          | ◎                                     |       |    |
| ・検査作業の向上(検査工数削減活動)            | 全社                           | ◎                                     |       |    |
| ・外観品質の向上(品質の厳格化)              | 全社                           | ◎                                     |       |    |
| 三・化学物質削減                      | 減らす                          | ・工法変更による削減活動(切削方法 油性 ⇒水溶性への変更 約40%実施) | 第二製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・切粉附着油分離(切粉処理機/遠心分離機)後再使用実施           | 第二製造部 | △  |
|                               |                              | ・個別洗浄導入(ジクロロメタン不使用)                   | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・洗浄機管理状態維持(ジクロロメタン機内蒸留再使用)            | 製造部   | ◎  |
| 無くす                           |                              | ・代替品調査実施(洗浄機製造業者情報入手)                 | 第一製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・切削附着油の回収徹底                           | 第二製造部 | ◎  |
| 水使用量削減                        | 節水                           | ・節水ラベル表示(全蛇口)                         | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・環境パトロールにて監視                          | 事務局   | ◎  |
|                               |                              | ・ロー付け炉冷却水循環使用                         | 第二製造部 | ◎  |
|                               |                              | ・水溶性切削水循環使用                           | 第二製造部 | △  |
| 社会貢献                          | 障害者                          | ・障害者研修受入                              | 管理部   | ◎  |
|                               |                              | ・特別支援学校教育指導事業                         | 管理部   | ◎  |
|                               |                              | ・栃木県障害者受入訓練事業                         | 管理部   | ◎  |
|                               | その他                          | ・環境美化活動(社内外清掃活動実施 1回/月)               | 全社    | ◎  |
|                               |                              | ・南那須特別支援学校生徒職場体験研修受入                  | 製造部   | ◎  |
|                               |                              | ・さくら社会復帰センター受刑者作業                     | 製造部   | ◎  |
|                               | ・氏家中学校マイチャレンジ(体験学習)受入        | 製造部                                   | ◎     |    |
|                               | ・産学官の連携 日本工業大学機械工学科との共同研究    | 第一製造部                                 | ◎     |    |
|                               | ・帝京大学理工学部開発の小型衛星部品制作提供       | 第一製造部                                 | ◎     |    |

【6. 2024年度環境目標の実績】

| 改善方針<br>目標値  | 実施状況  | 活動実績<br>4月～3月(12ヶ月) |                     | 評価 |
|--|---|---------------------|---------------------|----|
|  |   |                     |                     |    |
| 1. 二酸化炭素排出量削減<br><br>Co2排出量(監視)<br>付加価値/電気使用量目標<br>目標値 332千円/MWh | ①省エネ活動(節電・空調温度)<br>②生産性等の改善活動<br>③新エネルギー導入<br>④再生可能エネルギー    | 23年電気使用量実績          | 2913 MWh            | ○  |
|  |   | 24年電気使用量実績          | 2857 MWh            |    |
|  |   | 付加価値/電気使用量          | 365千円/MWh           |    |
|  |   | 二酸化炭素排出量実績          | 1345782 Kg-CO2      |    |
|  |   | 太陽光発電実績             | 205 MWh             |    |
| 2. 廃棄物排出量削減<br><br>リサイクル率 54%<br>一般廃棄物                           | ①リサイクル推進<br>②廃棄物分別強化<br>③環境・安全パトロール実施                       | 実績                  | 50.1%               | ×  |
|  |   | リサイクル(紙類)           | 4191kg.             |    |
|  |   | 廃棄物(可燃・粗大ごみ)        | 4169kg.             |    |
|  |   |                     |                     |    |
| 3. 水使用量削減<br><br>現状維持<br>節水活動<br>2810m3以下維持                      | ①節水活動<br>排水量の把握～節水活動  | 23年実績               | 1499 m <sup>3</sup> | ○  |
|  |   | 24年実績               | 1733 m <sup>3</sup> |    |
| 4. 化学物質使用量削減<br><br>洗浄液の回収率向上<br>使用量の把握<br>リサイクルの推進31.5%         | ①洗浄液<br>(ジクロロメタン リサイクル強化)削減<br>②洗浄方法・洗浄液の見直し<br>③使用量の把握及び削減 | 実績                  | 17250 リットル          | △  |
|  |   | リサイクル量              | 4200 リットル           |    |
|  |   | リサイクル率              | 24.3%               |    |
|  |   |                     |                     |    |

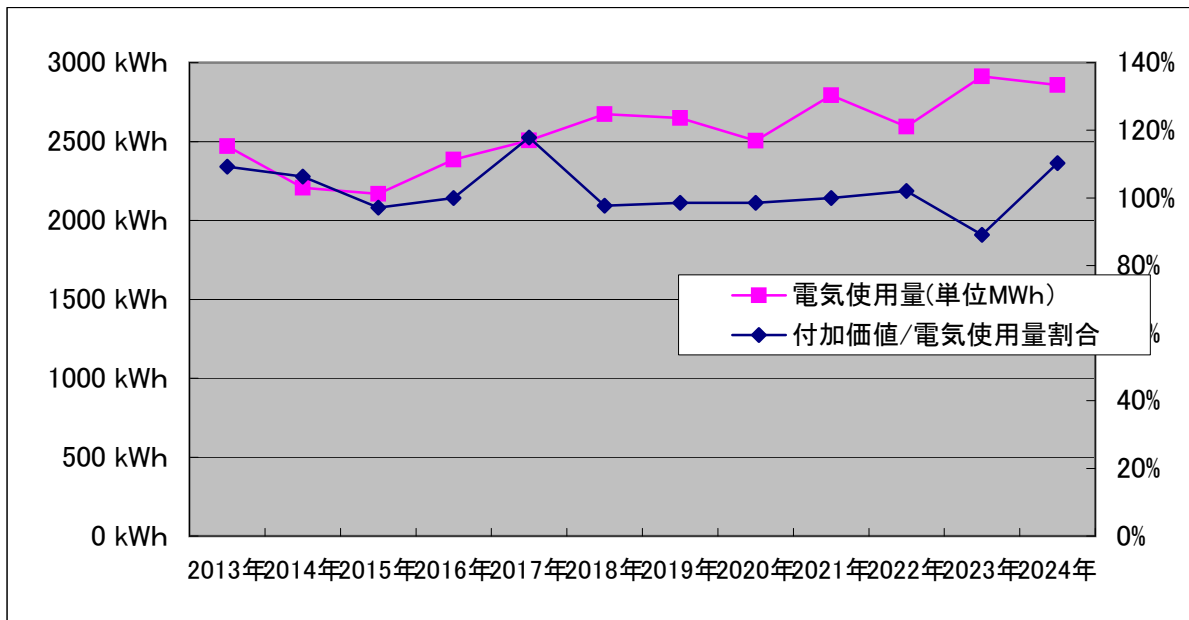
※二酸化炭素排出量実績は(CO2の排出係数本社0.492、蒲須坂工場0.454を用いた)

(1) 二酸化炭素排出量削減

- ① 省エネ活動(節電・空調温度調整・省エネ設備導入)

電気使用量の推移

|     | 電気使用量<br>(単位:MWh) |
|-----|-------------------|
| 24年 | 2,857             |
| 23年 | 2,913             |
| 22年 | 2,593             |
| 21年 | 2,794             |
| 20年 | 2,506             |
| 19年 | 2,650             |
| 18年 | 2,674             |
| 17年 | 2,508             |
| 16年 | 2,385             |
| 15年 | 2,168             |
| 14年 | 2,206             |
| 13年 | 2,471             |



※付加価値/電気使用量の傾向を表示している。

### 取りまとめ期間中のCO2排出区分内訳

取りまとめ期間中のCO2排出量(CO2の排出係数本社0.492、蒲須坂工場0.454を用いた) 単位:kg.

| 消費区分 (CO2排出係数)    | 24年4月~'25年3月排出量 | CO2区分比率   | 23年4月~'24年3月排出量 | CO2区分比率     |           |        |
|-------------------|-----------------|-----------|-----------------|-------------|-----------|--------|
| 購入電力(本社) 0.492    | 1276190 kWh     | 627,885   | 36.5%           | 1330161 kWh | 778,144   | 43.8%  |
| 購入電力(蒲須坂工場) 0.454 | 1581270 kWh     | 717,897   | 41.7%           | 1583600 kWh | 585,932   | 33.0%  |
| 蒲須坂太陽光発電 -        | 205640 kWh      | -         |                 | 121807 kWh  | -         |        |
| 灯油 2.49           | 3077 リットル       | 7,662     | 0.4%            | 2983 リットル   | 7,428     | 0.4%   |
| LPG 3.00          | 119725kg.       | 359,176   | 20.9%           | 132098kg.   | 396,295   | 22.3%  |
| ガソリン 2.32         | 2657 リットル       | 6,163     | 0.4%            | 2530 リットル   | 5,870     | 0.3%   |
| 軽油 2.58           | 693 リットル        | 1,788     | 0.1%            | 766 リットル    | 1,976     | 0.1%   |
| 合計排出量             |                 | 1,720,571 | 100.0%          |             | 1,775,645 | 100.0% |

電気料金削減で購入電力先を適時変更します。電力会社を定期的に見直し切替る事で価格の面からもCO2排出係数削減からも対応していきたいと思ます。蒲須坂工場へ太陽光発電設備を設置、自家発電自家消費を行いCO2削減に貢献。

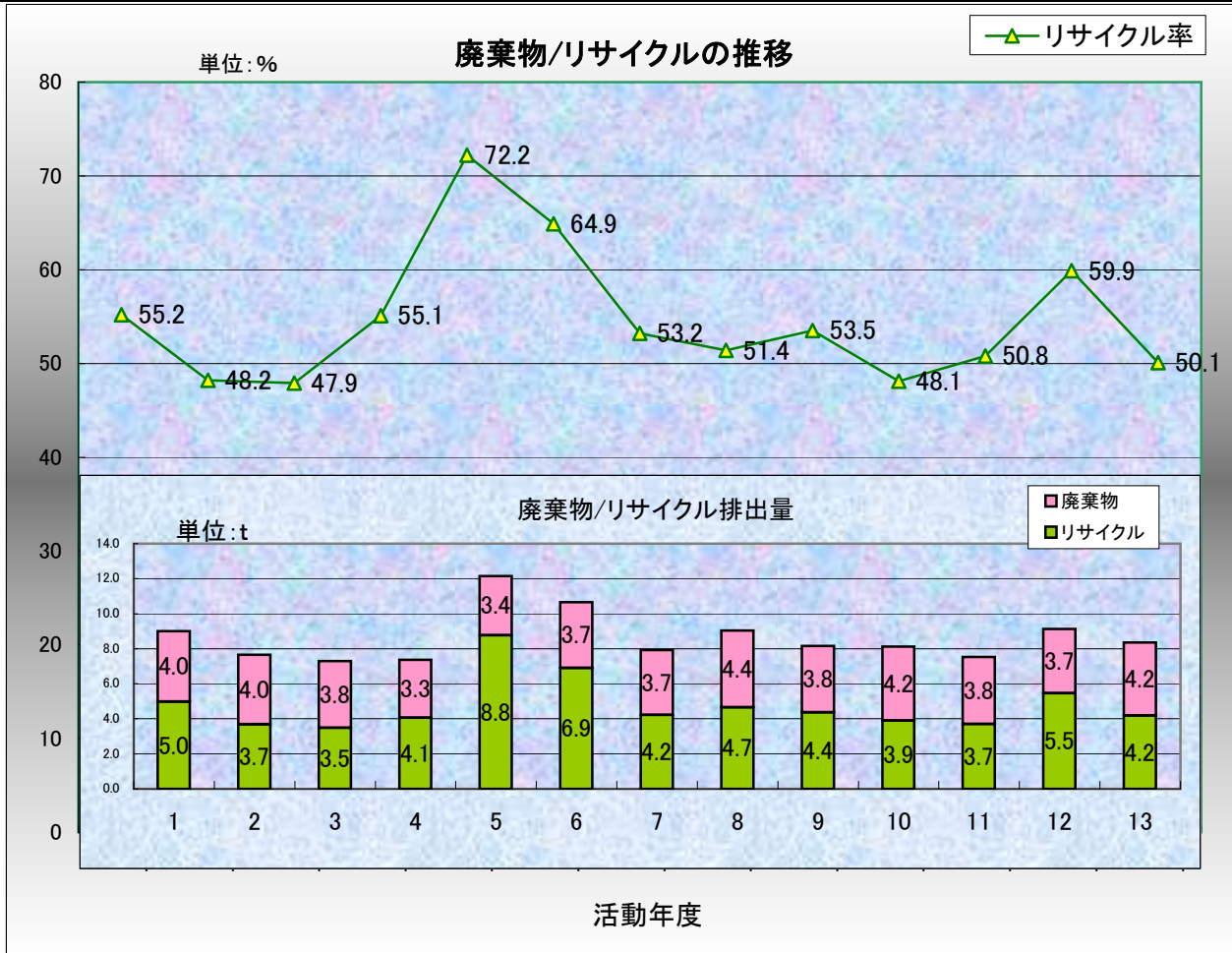
### 2024年度再生可能エネルギー(太陽光発電量)

|         | 4月          | 5月          | 6月          | 7月          | 8月          | 9月          | 10月         | 11月         | 12月         | 1月          | 2月          | 3月          | 合計           |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 発電量     | 18147 kWh   | 19958 kWh   | 21994 kWh   | 20653 kWh   | 19439 kWh   | 16716 kWh   | 13247 kWh   | 12986 kWh   | 13076 kWh   | 14482 kWh   | 16946 kWh   | 17996 kWh   | 205640 kWh   |
| Co2削減効果 | 8239 Kg-CO2 | 9061 Kg-CO2 | 9985 Kg-CO2 | 9376 Kg-CO2 | 8825 Kg-CO2 | 7589 Kg-CO2 | 6014 Kg-CO2 | 5896 Kg-CO2 | 5937 Kg-CO2 | 6575 Kg-CO2 | 7693 Kg-CO2 | 8170 Kg-CO2 | 93361 Kg-CO2 |

## (2) 廃棄物排出量削減

- ① リサイクル活動 活動目標 54%
- ② 廃棄物分別の強化(さくら市条例に基づく)

|      | ① 廃棄物総量(②+③) | ② 可燃・不燃・粗大ごみ |         | ③ リサイクル(分別) 排出量 |         | リサイクル率③÷① |
|------|--------------|--------------|---------|-----------------|---------|-----------|
| 24年度 | 8360kg.      | 4169kg.      |         | 4191kg.         |         | 50.1%     |
|      |              | 可燃ごみ         | 3508kg. | コピー用紙           | 339kg.  |           |
|      |              | 不燃ごみ         | 661kg.  | 新聞紙             | 80kg.   |           |
|      |              | 粗大ごみ         | 0kg.    | ダンボール           | 1069kg. |           |
|      |              |              |         | プラスチック          | 2703kg. |           |

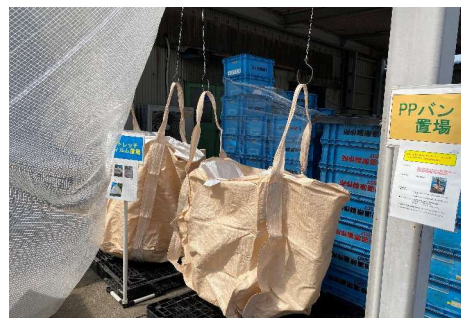


廃棄物/リサイクルの推移

|        | 2018年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| リサイクル  | 4.2   | 4.2   | 4.7   | 4.4   | 3.9   | 3.8   | 5.5   | 4.2   |
| 廃棄物    | 3.7   | 3.7   | 4.4   | 3.8   | 4.2   | 3.7   | 3.7   | 4.2   |
| リサイクル率 | 53.2  | 53.2  | 51.4  | 53.5  | 48.1  | 50.8  | 59.9  | 50.1  |

単位: t

廃棄物/リサイクル率を向上させるためにプラスチック類で回収してリサイクルできるストレッチフィルム、PPバンドを分別する事で、資源ごみとして再活用することをしております。



### (3) 水使用量削減

| 使用年度  | 本社                  | 蒲須坂工場              | 合計使用量               |
|-------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 2020年 | 1601 m <sup>3</sup> | 635 m <sup>3</sup> | 2236 m <sup>3</sup> |
| 2021年 | 1586 m <sup>3</sup> | 635 m <sup>3</sup> | 2220 m <sup>3</sup> |
| 2022年 | 1079 m <sup>3</sup> | 635 m <sup>3</sup> | 1713 m <sup>3</sup> |
| 2023年 | 864 m <sup>3</sup>  | 635 m <sup>3</sup> | 1499 m <sup>3</sup> |
| 2024年 | 1098 m <sup>3</sup> | 635 m <sup>3</sup> | 1733 m <sup>3</sup> |

※ 節水のための注意喚起等もあり、節水意識は根付いてきている。

### (4) 化学物質使用量削減

使用する化学物質は、受注状況により変化するため削減目標を定めず監視活動とする。

① 洗浄液(ジクロロメタンリサイクル強化) 削減活動及びリサイクル強化(監視)  
ジクロロメタンの扱いに関しては、廃掃法・安衛法・県条例等で規制されており、その扱いについては法基準にて維持管理されている。

| 使用年度  | 本社        | 蒲須坂工場      | 合計使用量      | リサイクル量    | リサイクル率 |
|-------|-----------|------------|------------|-----------|--------|
| 2020年 | 0 リットル    | 5250 リットル  | 5250 リットル  | 2400 リットル | 45.7%  |
| 2021年 | 0 リットル    | 8000 リットル  | 8000 リットル  | 3000 リットル | 37.5%  |
| 2022年 | 0 リットル    | 7650 リットル  | 7650 リットル  | 3000 リットル | 39.2%  |
| 2023年 | 2250 リットル | 12000 リットル | 14250 リットル | 2500 リットル | 17.5%  |
| 2024年 | 5000 リットル | 12250 リットル | 17250 リットル | 4200 リットル | 24.3%  |

洗浄機の定期メンテナンスを実施しリサイクル率強化

本社、蒲須坂臭素系洗浄機が2023年度後半からジクロロメタンへ変更。

但し、臭素系使用前の本社は1万L以上であった事から変更後使用量が半減。

### (5) グリーン購入(定義:環境配慮商品・グリーン購入法適合品・GPN品)

#### ① エコ製品(事務用品等)購入

既に事務用品等のエコ製品購入はほぼ切替り、継続監視をしていきます。

#### ② 3Rできる製品の積極購入

エコ製品の購入を実施、価格コストが高いものが多い。製品カタログより選び安価な製品を購入している。今後も継続し、コストに合う製品購入を実施する。

#### ③ 再生可能エネルギーの割合の多い電力の購入検討

電力会社定期検討時に査定するも価格設定が高い為、継続確認します。

カーボンオフセットの検討

どうしても排出されてしまうCO2排出量を、他の場所での削減・吸収活動で埋め合わせる。

## 【7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

2024年度における当社の法的要求事項について2025年6月に遵守状況を確認した結果環境関連法規等への違反はありません。また関係当局からの指摘は過去10年間以上ありません。訴訟もありませんでした。

当社が遵守すべき法規制につきましては、「7.1当社が適用される法規制」にて管理しています。また、年1回さくら市への問い合わせと適宜に環境省・栃木県・さくら市のホームページより制定、改廃の確認を行い情報の最新化を図っています。

### 確認資料

環境省>法令・告示・通達>追加された告示通達一覧 <http://www.env.go.jp/hourei/index.html>

栃木県ホームページくらし・かんきょう <http://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/index.html>

さくら市ホームページ<http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/life/1/12/>

# 7.1当社が適用される法規制

| 法規                                       | 対象施設・設備・業務等                    | 条項等  | 遵守事項   | 備考   |                      |
|--|--------------------------------|--|--|--|----------------------|
| 水質汚濁防止法                                  | 洗浄施設<br>(ジクロロメタン使用)<br>(蒲須坂工場) | 法5条、法7条  | 特定施設設置・変更等の届出  | ジクロロメタン 0.2mg/l  |                      |
|  |                                | 法12条 排水基準を定める省令別表1                             | 排水基準の遵守  |  |                      |
|  |                                | 法14条、栃木県工場・事業場排水自主管理要綱                         | 測定及び記録の行政への提出  | 毎月<br>北環境森林事務所   |                      |
|  |                                | 法12の4条   | 構造等の基準<br>・床面、防液堤のひび割れ点検<br>・施設本体のひび割れ                             |  |                      |
| 下水道法                                     | 生活排水の排出                        | さくら市   | さくら市下水道条例による使い方に従い排水   |  |                      |
| 浄化槽法                                     | 合併浄化槽<br>(接触式ばっ気式)             | 法5条、法11条                                       | 設置、変更、廃止の届出  |  |                      |
|  |                                | 規則1条の2   | 排水基準の遵守  |  |                      |
|  |                                | 規則6条の2   | 保守点検 3ヶ月に1回  |  |                      |
|  |                                | 法11条   | 定期検査 1年に1回   |  |                      |
| 土壌汚染防止法                                  | 工場の土地                          | 法10条   | 保守点検の委託(登録業者)  |  |                      |
|  |                                | 法3条  | 水質汚濁防止法に定める有害物質使用特定施設施設(ジクロロメタン使用)                                 | 該当する施設の廃止の際の土壌汚染<br>状況の調査及び報告                                      |                      |
|  |                                | 法12条2、規8条                                      | 保管基準(保管方法・掲示板表示)   | 掲示板(60×60)   |                      |
|  |                                | 法12条5、令6の2                                     | 委託契約の締結  |  |                      |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)                    | 産業廃棄物                          | 法12の3  | マニフェストの発行、返送管理   | 保管期間5年   |                      |
|  |                                | 法12の3.7  | 未返送時、状況の把握と知事への措置報告  | B2票・D票90日、E票180日<br>北環境森林事務所                                       |                      |
|  |                                | 法12の3.7  | マニフェスト交付状況報告の提出  | 前年度分を6月末まで   |                      |
|  |                                | 法12条7  | 処分先の確認努力   | 現地確認、HP確認等、適切な手段   |                      |
|  | 法12条2.8                        | 特別管理産業廃棄物処理責任者                                 |  |  |                      |
|  | 一般廃棄物                          | 法6条の2  | 一般廃棄物収集運搬業者への委託  |  |                      |
| 騒音規制法                                    | コンプレッサー<br>クーリングタワー            | 法6条、法8条  | 特定施設の設置・変更等の届出   | さくら市に届出  |                      |
|  |                                | 法2条、令1条<br>県生活環境条例<br>2条、規4条                   | 本社工場(工業地域)   | 規制基準の遵守(法5条)   |                      |
|  |                                |  | ①コンプレッサー(7.5kw.以上)   | 昼間 70dB以下 朝・夕 65dB以下   |                      |
|  |                                |  | ②クーリングタワー(0.75kw.以上)   | ①4台 15P×1 37P×2 7.5P×1   | 夜間 60dB以下            |
|  |                                |  | ②2台 0.75kw. 2kw.   | 蒲須坂工場(用途地域の定めのない地域)  | 規制基準の遵守(法5条)         |
|  |                                |  | ①コンプレッサー(7.5kw.以上)   | ①2台 22P×2  | 昼間 65dB以下 朝・夕 60dB以下 |
|  | ②クーリングタワー(0.75kw.以上)           | ②1台 0.75kw                                     | 夜間 50dB以下  |  |                      |
| 振動規制法                                    | コンプレッサー                        | 法2条、令1条<br>県生活環境条例<br>2条、規4条                   | 法規に該当する施設がある   | さくら市に届出  |                      |
|  |                                |  | 本社工場(工業地域)   | 規制基準の遵守(法5条)   |                      |
|  |                                |  | ・コンプレッサー(7.5kw.以上)   | 昼間 70dB以下 夜間 65dB以下  |                      |
|  |                                |  | 4台 15P×2 37P×1 7.5P×1  | (測定義務はなし)  |                      |
|  | 蒲須坂工場(用途地域の定めのない地域)            | 規制基準の遵守(法5条)                                   |  |  |                      |
|  | ・コンプレッサー(7.5kw.以上)             | 2台 22P×2                                       | 昼間 70dB以下 夜間 65dB以下  |  |                      |
|  |                                |  | (測定義務はなし)  |  |                      |
| 特定化学物質の環境への排出の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) | 化学物質の使用と排出                     | 法2条の2  | 第1種指定化学物質(令別表1)  | 462種類(うち特定第1種15種類)   |                      |
|  |                                | 法5条  | 排出量・移動量等の把握  | 含有率1%(特定0.1%以上)  |                      |
|  |                                | 法5条2   | 排出量・移動量等の報告  | 年間使用量1t以上(特定0.5t以上)  |                      |
|  |                                | 法3条  | 化学物質管理指針   | 前年度分を6月末まで、北環境森林事務所<br>指針に従い適切に管理                                  |                      |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)      | 業務用エアコン                        | 法16条   | 全ての機器 簡易点検:3ヶ月に1回<br>7.5kW以上50kW未満 定期点検:3年に1回<br>50kW以上 定期点検:1年に1回 | 本社工場40台、蒲須坂工場27台<br>7.5kW以上のエアコンはなし                                |                      |
|  |                                | 法19条   | フロンの漏洩の報告(1000t- $\text{CO}_2$ 以上)                                 |  |                      |
|  |                                | 法41条   | 廃棄の際の引き渡し(回収業者へ)   |  |                      |
|  |                                | 法45条   | 機器を廃棄の際フロン類の回収   | 引取業者より証明書受領(3年間保管)   |                      |
| エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)                | エネルギーの使用                       | 法7条  | 特定事業者(原油換算1500k以上)   |  |                      |
|  |                                | 法7条2   | エネルギー管理統括者の選任と届出   |  |                      |
|  |                                | 法7条3   | エネルギー管理規格推進者の選任と届出   |  |                      |
|  |                                | 法14条   | 中長期計画の作成と提出  |  |                      |
|  |                                | 法15条   | 定期報告   |  |                      |
|  |                                | 法3条  | 対象となる特定施設<br>(少量危険物)   | 洗浄施設(ジクロロメタン使用)  |                      |
| 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(公害防止管理者法)        | 洗浄施設<br>(ジクロロメタン使用)<br>(蒲須坂工場) | 法3条  | 公害防止統括者の選任と届出  | 選任後30日以内に届出、北環境森林事務所   |                      |
|  |                                | 法4条  | 公害防止管理者の選任と届出  | 30日以内に選任し、その後30日以内に届出  |                      |
|  |                                | 法7条  | 公害防止管理者の資格   | 水質2種   |                      |
|  |                                | 法5条  | 長期使用、再生品の利用を促進   |  |                      |
| 資源の有効な利用に関する法律(資源リサイクル法)                 | 物品等の使用                         | 法6条  | 長期間使用し廃棄の抑制<br>廃棄の際の適正処理(引渡し)                                      |  |                      |
|  |                                | 法8条  | 適正な引き渡し  |  |                      |
| 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)                   | テレビ 冷蔵庫 エアコン                   | 法73条   | リサイクル料金の預託   |  |                      |
|  |                                | 法8条  | 適正な引き渡し  |  |                      |
| 使用済み自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)            | 自動車                            | 法73条   | リサイクル料金の預託   |  |                      |
|  |                                | 法73条   | リサイクル料金の預託   |  |                      |
| 消防法(火災予防条例)                              | 危険物                            | 条例   | 指定数量の1/5以上～指定数量未満<br>(少量危険物)                                       | 本社工場(少量危険物貯蔵取扱所)<br>届出は氏家消防署                                       |                      |
|  |                                | 法10条 危令19条                                     | 一般取扱所(指定数量以上30倍未満)   | 蒲須坂工場 届出は氏家消防署   |                      |
|  |                                | 法12条   | 貯蔵の技術上の基準  |  |                      |
|  |                                | 法13条の2   | 危険物取扱者の選任と届出   | 届出は氏家消防署 乙種4類  |                      |
|  | 法17条                           | 消防用設備の設置                                       | 届出は氏家消防署   |  |                      |
|  | 法8条の1                          | 防火管理者の選任と届出                                    |  |  |                      |
| LPG                                      | 法9条の3<br>危令1条の10               | LPG保管庫(最大2900kg)の届出                            | 届出は氏家消防署   |  |                      |
| 労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)                      |                                | 有機剤19条   | 有機溶剤作業主任者等の選任  |  |                      |
| 労働安全衛生法                                  | 金属アーク溶接機                       | 特化則第38条21第2項                                   | ・溶接ヒュームの濃度測定<br>溶接ヒューム中のマンガンをばく露<br>基準値/0.05mg/m3                  | 本社工場 ロボット溶接機5台(TIG3台、MAG2台)<br>ハンドトーチ溶接機1台                         |                      |
|  |                                | 特化則第27条  | ・特定化学物質作業主任者の選任  |  |                      |
|  |                                | 特化則第39条  | ・特定化学物質に係る特殊健康診断実施   | 1回/6ヶ月以内   |                      |
|  |                                | 粉じん障害防止規則 第25条・第26条                            | 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じんを著しく発生する屋内作業場は6ヶ月に一度粉塵濃度の測定                     | 特定粉塵作業<br>・作業環境測定<br>データ保管   |                      |
|  |                                | 安衛法88条、規則85-86条                                | 建設物・機械等設置・移動・変更届   | ・プラスチック設置にあたっての届出・義務   |                      |
|  |                                | 粉じん規則第17条、第18条<br>粉じん規則第22条<br>じん肺法第7条・第8条・第9条 | 設備性能低下、劣化箇所等の点検・確認<br>装置導入時の教育<br>健康診断                             | ・設備性能低下、劣化箇所等の点検・確認<br>・作業に従事する労働者への特別教育<br>・作業者に対し定期/定期外にて医療機関の検診 |                      |

## 【8. 環境活動計画の取組結果及び評価】

| 改善方針<br>目標値   | 実施状況のポイント  | 評価   |
|---|--|--|
| <p>1. 二酸化炭素排出量削減</p> <p>Co2排出量(監視)<br/>付加価値/電気使用量<br/>目標<br/>目標値 332千円/MWh</p>        | <p>各部門へCo2排出量削減の指標向上の為、付加価値の高い生産対応を依頼しています。注文数に対し必要な生産を行うための必要な電気使用での生産対応。全体的な生産量に合わせて、設備稼働時間の効率化、ロー付炉立上時間の変更などを行い電気やLPGガス削減などを行う。日ごろより朝礼や掲示等で不良削減活動や節電に対しては十分心がけるよう指導してきました。その為の作業環境の改善も行い、熱中症対策、クールビズ推進、省エネエアコン・LED照明・太陽光発電設備増設など、作業しやすい現場環境にも改善もしてきました。</p> | <p>目標332千円/MWhに対し365千円/MWhで大きく目標達成となります。2023年北米からの撤退を行い、蒲須坂工場に工場を増設し現地設備を日本へ移設しました。日本で生産した部品を輸出することで現地取引先様との契約を継続しました。蒲須坂工場側では北米生産を開始し現地顧客への納入を継続する為、休業返上で生産を行い作った製品を作っただけ送り込む為、効率の良い生産を行うことができました。また、蒲須坂では太陽光発電設備を設置したことで再生可能エネルギーを使用する事での効率化もできました。本社側では全体的な生産量も減ってきたことで、設備稼働率の見える化を行い設備の集約化やロー付稼働時間の変更などエネルギー使用削減に貢献しました。蒲須坂工場内で個別集塵機から集中局所集塵へ切替えた事で2024年1月以降効果が出てくるのではとCO2削減効果の期待をしております。</p>      |
| <p>2. 廃棄物排出量削減</p> <p>リサイクル率54%<br/>一般廃棄物</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物分別強化活動実施継続。</li> <li>・コピー用紙の両面使用、PDF化による継続。</li> <li>・プラスチック類(ビニール系)再資源化</li> </ul>   | <p>廃棄物(可不燃、粗大ごみ)排出量、リサイクルもできており、一般廃棄物分別に対する全体の意識づけも定着しました。リサイクル率54%に対し50.1%で目標未達成でした。プラスチック(ストレッチフィルム・PPバンド等)の分別強化、プラスチック通箱(ポリ箱)整理などで廃棄するのではなく再利用(リサイクル化)を実施することで廃棄物削減を行いました。昨年度廃棄物が増えた事は環境美化活動により可燃ごみが発生しました。また、コピー用紙は今までの両面使用やPDF化により全体的な使用量が半減したことでのリサイクル量減少での要因です。</p>   |
| <p>3. 水使用量削減</p> <p>現状維持<br/>節水活動</p>   | <p>手洗いやトイレ等、生活用水使用にあたり節水活動を実施した。定期パトロールを実施、水漏れ等確認(節水100%)を実施した。</p>  | <p>2023年はコロナ過以降全体的な水使用が減りましたが、2024年は正常化してきたことで通常の生活用水使用になりました。</p>   |
| <p>4. 化学物質使用量削減</p> <p>洗浄液の回収率向上<br/>リサイクル率:31.5%以上維持<br/>使用量の把握及び削減<br/>リサイクルの推進</p> | <p>洗浄液(ジクロロメタン)のリサイクル強化。購入量、排出量の把握及び管理を問題なく実施した。PRTR対象の物質の確認及び調査・把握を実施した。</p>  | <p>化学物質削減として洗浄液(ジクロロメタン)は2023年末から本社、蒲須坂2台を臭素から変更しました。洗浄液回収率目標31.5%以上に対し24.3%で目標未達成となります。工場別内訳として本社のリサイクル率は8%で悪く、蒲須坂は45.6%で目標を達成しています。ただし、本社側に関しては、臭素系への切り替え前は、現在の倍以上の洗浄液を使用していたとの事です。臭素系に変更する際に洗浄設備を入れ替えたことで、設備内の再生機能が向上し、使用済みの廃液を繰り返し再生できるようになった結果、ジクロロメタンの使用量(購入量)が大幅に削減されていることがわかりました。廃液として産業廃棄物として出る量は減りましたが、全体の購入する量が減ったこととなります。今後も定期的なメンテナンスを実施して回収率をあげて継続監視していきます。尚、代替切替に向けた活動も今後も継続していきます。</p> |

## ・環境美化活動

社内外清掃活動実施（1回/月）

※社外近辺の歩道、道路端での清掃、除草活動も実施



## ・産学官の連携

日本工業大学機械工学科との共同研究

『超音波振動加工技術の開発』

塑性及び切削加工における要素技術の高度化・新工法の創出  
加工負荷の大幅な低減 → 工具の長寿命化・寸法精度の向上

帝京大学理工学部が開発した小型衛星

『TeikyoSat モジュール部品の製作・提供』

重要保安部品製造で培った弊社技術が宇宙空間へ

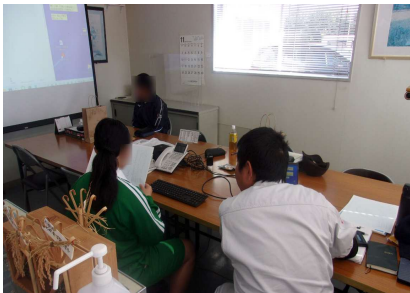
## ・社会貢献

障害者の積極的な受入・・・・・・・・・・・・・・・・2名

特別支援学校生徒の職場研修受入

社会復帰センター受刑者への作業要請・・・・喜連川社会復帰センター

中学校マイチャレンジ受入・・・・・・・・・・・・氏家中学校生徒受入れ



## ・カーボンニュートラル推進活動

・カーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギー活用として太陽光発電設備を蒲須坂工場屋根に設置し、自家発電・自家消費を行っております。

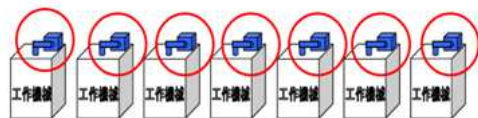


- 工作機より発生するオイルミストの集中局所集塵設備導入に伴うCO2削減  
(2024)年度 製造工程脱炭素化促進モデル創出事業活動

蒲須坂工場での個別集塵機対策から集中局所集塵対策へ切り替えることで設備全体の消費電力を低減しCO2削減、更に工場内の作業環境改善により生産性の向上を図ることができました。

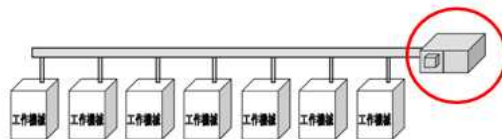
従来の対策

### 個別集塵対策



新たな対策

### 集中局所集塵対策



## 【9. 代表者による全体評価と見直しの結果】

|   |  |
|---|--|
| 全体の運用状況等の情報の概要  | 毎月開催される統合会議(①環境管理委員会②Q会議)の中で報告される議事(会議資料)及び、各部より報告される月中活動報告書       |
| 評価情報項目  | 代表者の確認・評価  |
| 環境への負荷の自己チェックの結果  | 環境への負荷の自己チェックシートを2025年5月21日確認した。                                   |
| 環境への取組の自己チェックの結果  | 環境への取り組みの自己チェックシートを2025年5月21日確認した。                                 |
| 環境関連法規の制改定情報  | 2025年6月26日に「環境関連法規・その他の要求事項」の取りまとめを行い、当社の関連する法の改訂及び新規制定はない事を確認した。  |
| 遵守状況のチェック結果   | 2025年6月26日に「環境関連法規・その他の要求事項」の取りまとめを行い、当社の関連する法規制について遵守されている事を確認した。 |
| 環境負荷の監視・測定の結果   | 水質汚濁防止法に基づく水質検査を定期的実施し(12回/年)適法である事を確認した。                          |
| 環境目標の達成状況<br>環境活動計画の実施状況  | 結果の詳細は「環境活動計画の取り組み結果及び評価による。                                       |
| 内部監査結果  | 2024年10月に実施された内部監査において不適合そのた改善事項が無い事の報告を2024年11月1日に報告され確認した。       |
| 外部からの苦情その他要望等   | 2024年度は外部からの苦情及び要望等はなし。  |
| 問題点の是正・予防の結果  | 業績での影響が大きく影響し、更なる改善を期待します。   |
| 文書類の制定・改廃の結果  | 環境関連マニュアルを必要に応じ見直すこと。  |
| 環境方針・環境目標・環境活動計画、実施体制の変更の必要性  | 環境方針の変更は必要ないが、方針・目標・活動計画等は環境管理責任者を中心とした実施体制のもとで、しっかりと取り組むこと。       |
| <b>代表者の見直しの結果</b><br><b>【見直し内容総括】</b><br>1, 法令については遵守されている事、そして環境負荷の監視・測定についても、適切に実施されていることを確認できた。<br><br>2, 製造現場のエア漏れについてはエアーリークビューアー等の購入も検討し進めて下さい。<br><br>3, ブレージング炉の熱遮断壁の設置を検討して下さい。夏場は活用し、冬場は外すことで、冷暖房効率を高め省エネに繋げる。<br><br>4, 環境に関する社内意識醸成には、繰り返し啓蒙活動を行うことが大切。業務連絡会や全体朝礼を通じ啓蒙活動を継続して下さい。 |  |